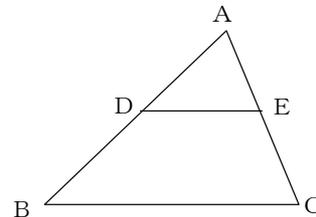


相似な図形(相似な図形の面積と体積)				
学年		組		氏名

1 右の図の△ABCにおいて、点D、点Eはそれぞれ辺AB、AC上の点です。
 $DE \parallel BC$, $AD : DB = 2 : 3$

であるとき、次の問いに答えなさい。

(1) △ADEと△ABCの相似比と面積比をそれぞれ求めなさい。



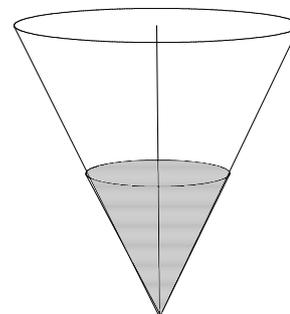
相似比→	2	:	5	面積比→	4	:	25
------	---	---	---	------	---	---	----

(2) △ADEと四角形DBCEの面積比を求めなさい。求め方が分かるようにかきなさい。

<p>求め方</p> <p>(1) から、△ADEと△ABCの相似比は、4 : 25</p> <p>一方、四角形DBCEの面積は、△ABCの面積から△ADEの面積をひいた大きさなので、△ADEと四角形DBCEの面積比は、</p> <p style="text-align: center;">$4 : 25 - 4 = 4 : 21$である。</p>	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4 : 25を基にして、25から4をひく理由をかいている。 • 結論をかいている。
<p>面積の比→ 4 : 21</p>	

2 円錐の形をした容器に、コップ1杯のジュースを入れたところ、容器の高さの $\frac{1}{2}$ のところまでジュースが入りました。この容器を満水にするには、同じコップで、ジュースをあと何杯入れるとよいですか。求め方が分かるようにかきなさい。

<p>求め方 (例)</p> <p>ジュースの入っている部分と容器全体の相似比は1 : 2であり、その体積比は $1^3 : 2^3 = 1 : 8$ である。つまり、ジュースの入っている部分と入っていない上の部分の体積比は1 : 7である。よって、あと7杯分入れるとよい。</p>	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ジュースの入った部分と他の部分の体積比の根拠をかいている。 • 結論をかいている。
<p>答 7杯分</p>	



☆相似の考え方を使えば見た目でも何となく捉えていることをはっきりと説明できます。